

入札に関する質疑

件 名	(物品) 8856_令和 8 年度小学校タブレット端末等賃貸借		
受付日	質疑		回答
7/8	1	1. 「2022 年度実施内容の踏襲」に関する情報開示について 仕様書に「2022 年度実施した内容を踏襲し」との記載がございますが、当該内容は公開資料に含まれておらず、既存業者のみが知り得る非公開情報を必須要件とすることは、地方自治法が定める競争の公平性を損なう懸念がございます。 本案件に対し最適な提案を行うため、2022 年度の「研修シラバス」「使用教材」および「稼働実績詳細」を、本案件に質問書を提出した全業者に対してご開示いただけますでしょうか。開示が困難な場合、公平な競争環境を担保するため、当該要件を必須要件から除外いただくか、あるいは仕様書に記載のない独自の内容での提案を許容する運用を認めていただけますでしょうか。 2. 既存業者との連携・調整コストの所在について 「既存端末導入業者と調整」との記載がございますが、連携作業において既存業者が提示する技術支援費や設定費は、本件の入札金額に含めるべきでしょうか。 既存業者による不当な価格優位性を排除するため、連携に伴う作業費用の内訳を事前に開示いただくか、または当該費用は「市直接発注」として調達範囲から切り分けていただけますでしょうか。また、連携に必要な既存業者名のご開示を併せてお願いいたします。	1. 「使用教材」「稼働実績詳細」については、別添「2022 年度海老名市プログラミング教育支援員 活動報告書」をご覧ください。「研修シラバス」はありませんが、プログラミング授業の目標・内容・進め方については、支援員と学校教職員との事前打合せによってその都度、学校・学年のニーズに合わせて決定していただくようお願いします。以上の内容を踏まえての研修を御提案ください。 2. 本業務において必要となる既存事業者との連携・調整については、技術支援費や設定費等、費用が発生するものではないため、入札金額に含める必要はございません。 ただし、端末導入に係る初期設定については、落札後に受注者と発注者との協議により、設定内容を決定するため、それに必要な作業技術費や人件費等は見積りに含めてください。

7/8	1	3. 電波改善措置の範囲および定量基準について 「各学校のエリアにおける電波改善が実施できること」とありますが、本件の電波改善措置は、通信事業者への調査依頼等の「努力義務（ベストエフォート）」と理解してよろしいでしょうか。物理的なリピーター設置や配線工事等の設備投資が発生した場合の費用負担について、見積もりの前提を明確にするためご教示ください。 4. 最低制限価格の設定について 本件において、予定価格に対する最低制限価格の設定はありますでしょうか。ある場合、その算出基準をご教示ください。	3. 「努力義務」という理解でよろしいです。 4. 最低制限価格はありません。
-----	---	--	---

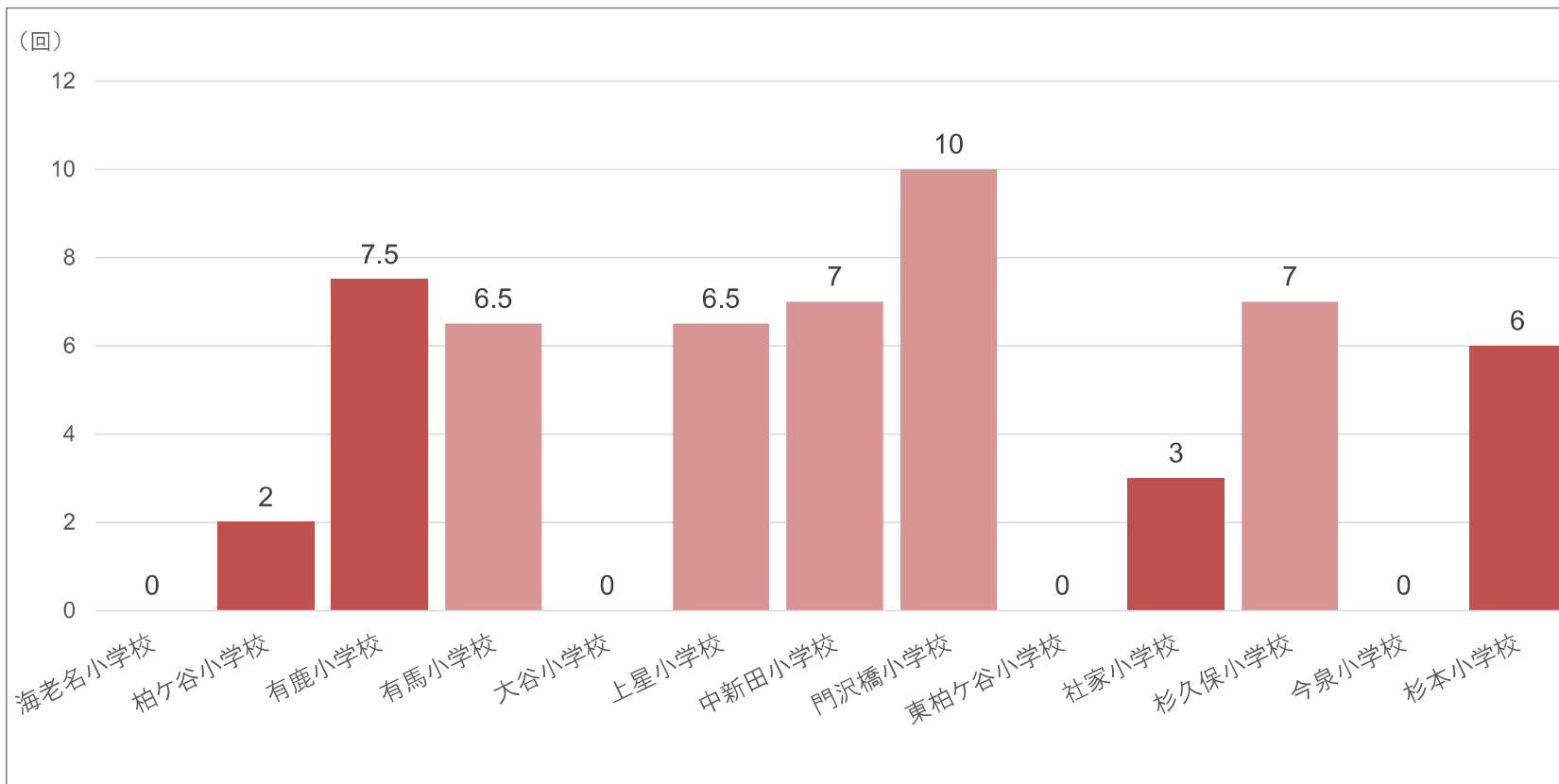
2022年度海老名市 プログラミング教育支援員 活動報告書



各校訪問実績



2022年度は333時間(19,980分)、回数に換算すると55.5回分の訪問となりました。
今年度初めて柏ヶ谷小学校、有鹿小学校、社家小学校、杉本小学校への授業支援を行いました。



※濃い赤色の学校は2022年度初めて支援した学校です

※1回あたり360分の訪問、180分の訪問は0.5回とカウントしています

学校別支援実績

各学校の支援時間の詳細は以下の表の通りとなります。

<項目説明>

- ・初回訪問 … 事業説明、管理職やご担当の先生へのご挨拶、プログラミング教材のご紹介
- ・学校打ち合わせ … 訪問日の調整や管理職の先生へのご挨拶
- ・調査・研究 … プログラミング教材の動作確認、打ち合わせ準備、授業提案準備など
- ・報告書作成 … 報告書・授業レポート作成

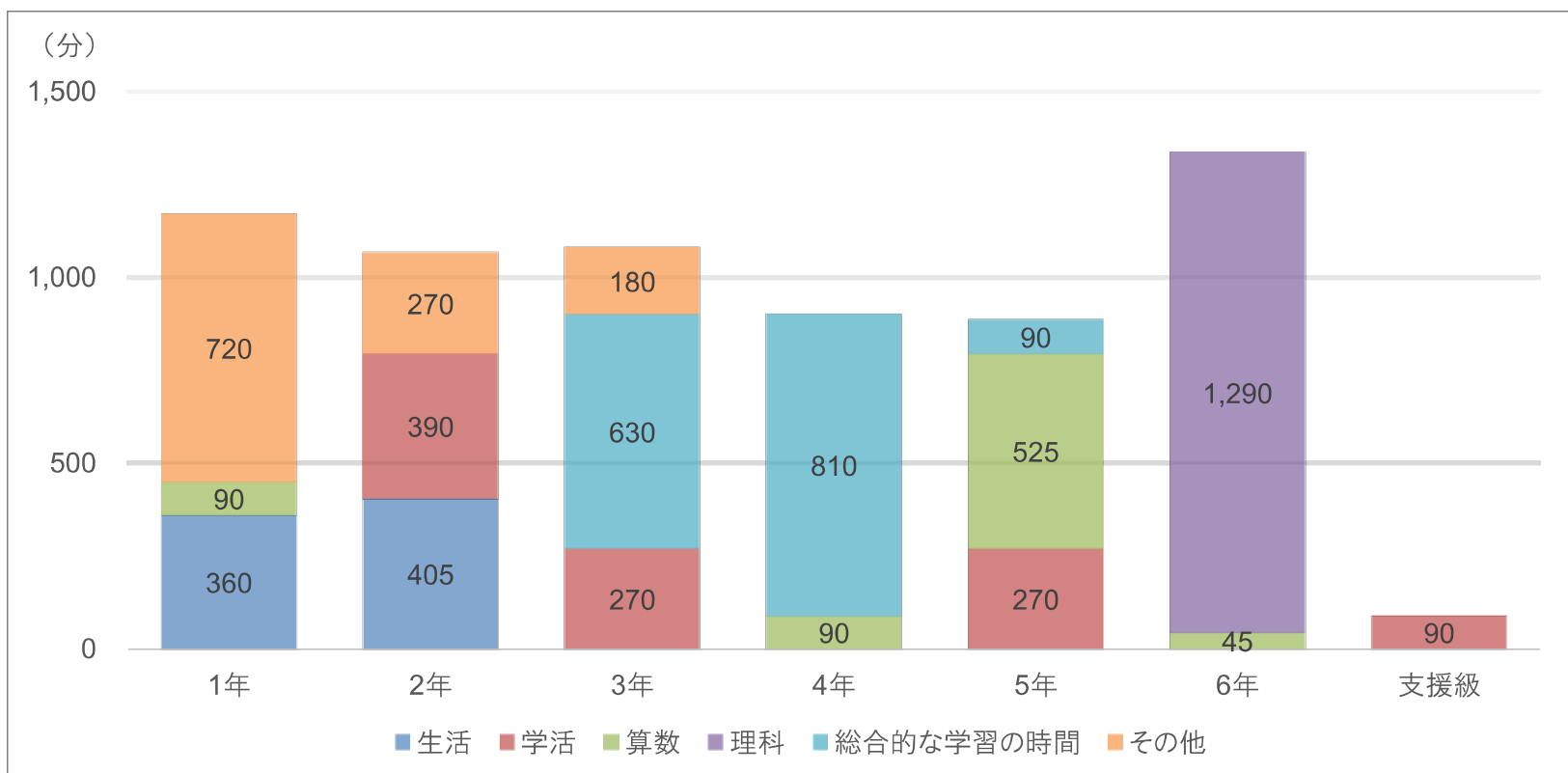
	初回 訪問	学校 打ち合わせ	教材作成 支援	授業準備・ 片づけ	授業 打ち合わせ	授業 立ち会い	調査・ 研究	報告書 作成	資料 作成	先生向け 研修会	総計
海老名小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柏ヶ谷小学校	180	0	0	0	80	190	120	150	0	0	720
有鹿小学校	180	50	0	60	440	1,620	80	270	0	0	2,700
有馬小学校	180	90		525	460	495	285	305	0	0	2,340
大谷小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上星小学校	180	0	0	90	380	855	405	430	0	0	2,340
中新田小学校	180	80	0	335	300	675	600	250	100	0	2,520
門沢橋小学校	180	90	160	415	520	905	250	990	90	0	3,600
東柏ヶ谷小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社家小学校	180	0	0	150	240	270	120	120	0	0	1,080
杉久保小学校	180	10	0	360	290	855	215	610	0	0	2,520
今泉小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉本小学校	180	35	0	130	280	660	520	355	0	0	2,160
総計	1,620	355	160	2,065	2,990	6,525	2,595	3,480	190	0	19,980

学年・教科別授業立ち会い実績

全校合計6,525分(約109時間)授業立ち会いをさせていただきました。

昨年度に引き続き、6年生理科の電気の単元において、プログラミングを取り入れた授業を支援する機会が一番多い結果となりました。

門沢橋小学校の支援級では、コード・A・ピラーを用いた授業が行われました。

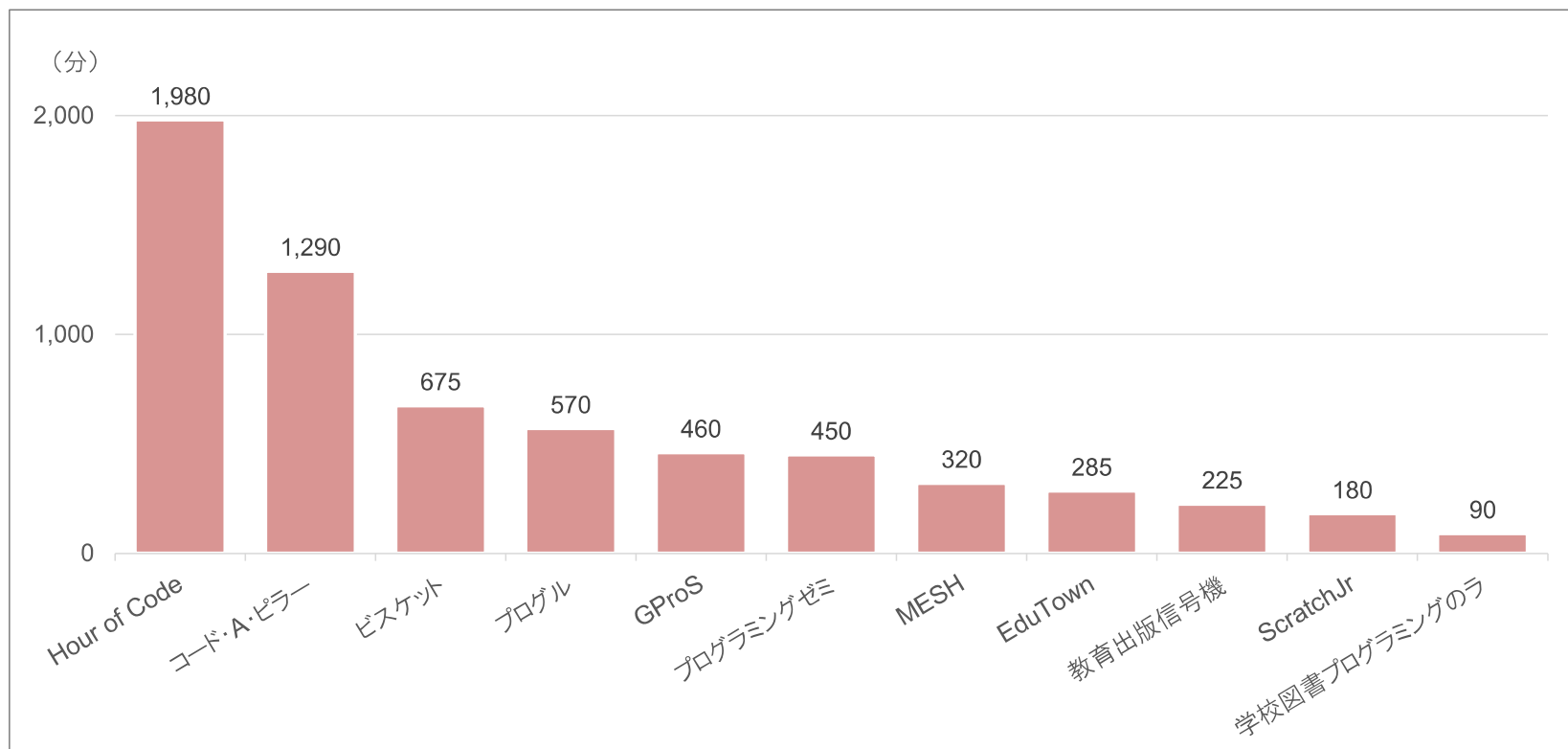


プログラミング教材別授業支援実績



最も多く授業支援を行った教材は「Hour of Code」でした。「初めてのコンピュータープログラムを書く」と「フラッピーゲームを造る」の2つのコンテンツを使用しました。

また、インターネット接続の問題で、ビスケットが上手く起動しない・画面が遷移しないトラブルのあった学校があり、急遽ScratchJrを使用した授業を実施しました。



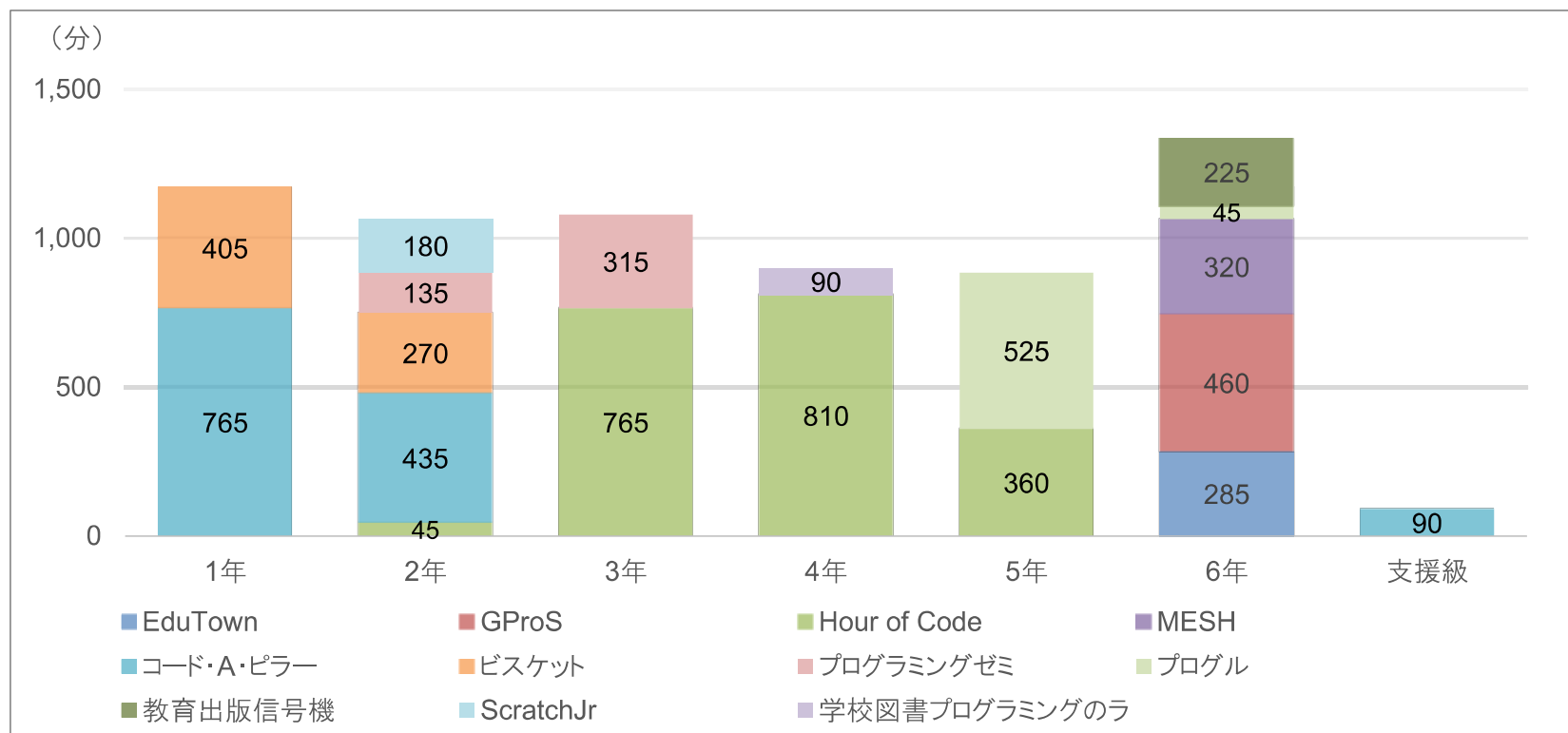
※MESHは学校がお持ちのもの他、会社から3セットお貸出しいたしました

プログラミング教材・学年別授業支援実績



コード・A・ピラーは1, 2年と支援級で用いられ、特に1年生ではプログラミング学習の導入として活用される機会が多い結果となりました。

6年生理科の電気の学習教材は、東京書籍のEduTown、学校図書のGProS、教育出版の「歩行者用信号機のプログラムを作ろう」の3つのコンテンツがあり、児童の実態や先生方のご要望に応じてお選びいただき、支援を行いました。



プログラミング教材・学校別授業支援実績



支援を行った学校のうち、どのプログラミング教材を使用していたかを表したグラフです。
Hour of Code、コード・A・ピラーはほとんどの学校が活用していました。

	EduTown	GProS	Hour of Code	MESH	コード・A・ピラー	ビスケット	プログラミングゼミ	プログル	教育出版 信号機	ScratchJr	学校図書 プログラミングのラ	総計
柏ヶ谷小学校	0	100	0	0	0	0	0	0	90	0	0	190
有鹿小学校	135	135	675	0	135	405	0	135	0	0	0	1,620
有馬小学校	0	90	180	0	135	0	0	90	0	0	0	495
上星小学校	0	0	180	0	180	135	180	0	0	180	0	855
中新田小学校	0	135	225	0	90	0	135	90	0	0	0	675
門沢橋小学校	0	0	270	320	225	0	0	0	0	0	90	905
社家小学校	0	0	0	0	135	0	135	0	0	0	0	270
杉久保小学校	150	0	315	0	120	135	0	135	0	0	0	855
杉本小学校	0	0	135	0	270	0	0	120	135	0	0	660
総計	285	460	1,980	320	1,290	675	450	570	225	180	90	6,525

※赤く色づけしたセルはプログラミング教材の活用した時間が一番多かった学校です

単位(分)